

BSD-5000L

7 運転する前に

(1) 各部の点検

①タイヤの空気圧、及び摩耗、損傷がないか点検します。

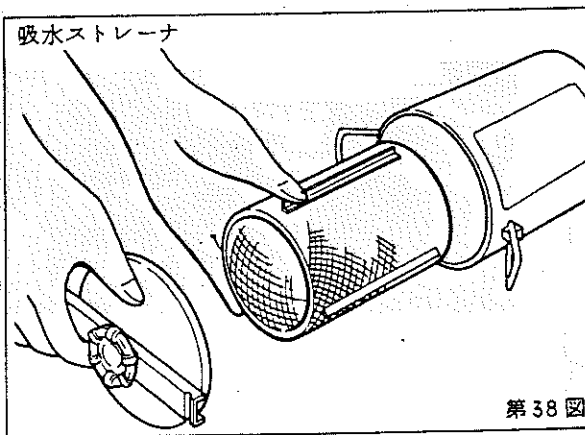
標準空気圧 1.8kgf/cm² (0.18MPa)

②各締付部（タイヤ等足回りのボルト、ナット、機体各部のボルト、ナット、ピン、ホース接続部等）のゆるみを点検します。

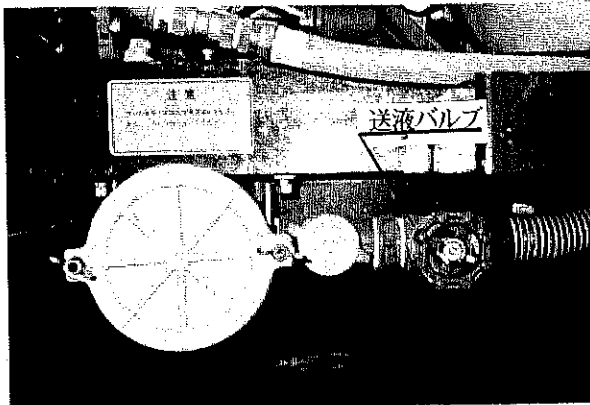
③配管ホースにつまりや破損及びよじれ等がないか点検します。

重要 ●特に吸水ホースの接続部より空気を吸い込むと、吸水しなかったり、ポンプが異常音を発生したりして破損します。

④吸水ストレーナ内のストレーナ、動噴吐出部 Y型ストレーナ内のストレーナ、薬剤タンク水入口の水コシ網を点検清掃します。



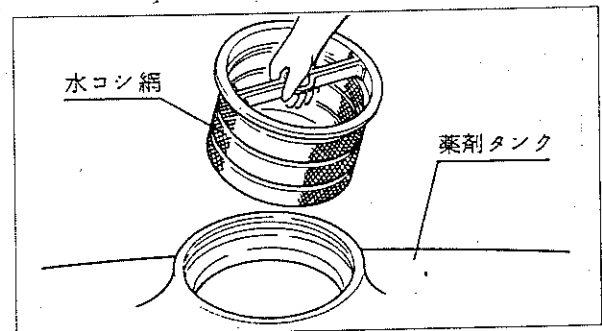
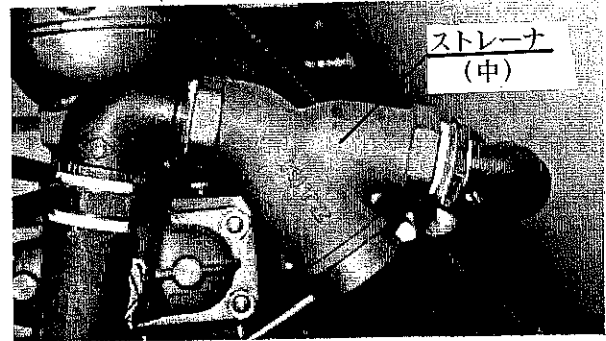
⑤薬液タンクに薬液が入っている場合は、薬液バルブを閉じて行います。



▲注意

●噴霧用ポンプ運転時には、送液バルブは必ず開いておいてください。

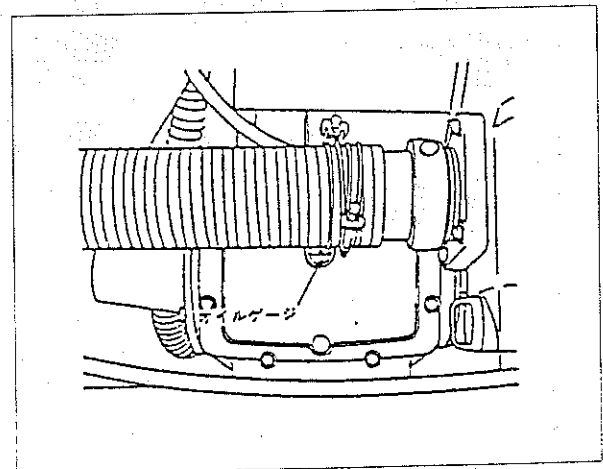
Y型ストレーナ



(2) 各部への給油

①動力噴霧機

(1) クランクケースに、オイルゲージの赤点までオイルが入っているか、又、汚れていないか確かめます。

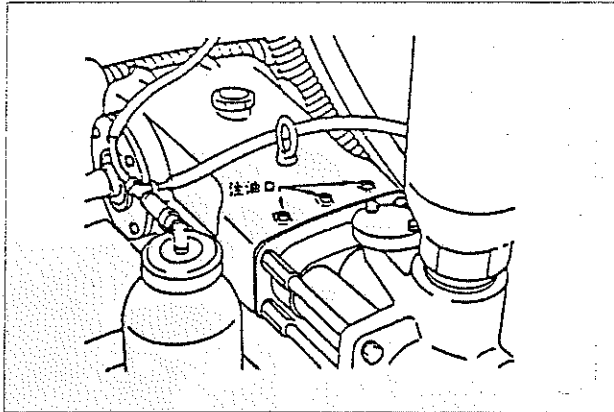


使用オイル モビル油 SAE#40 容量2ℓ

標準オイル交換時間: 初回..... 50時間目

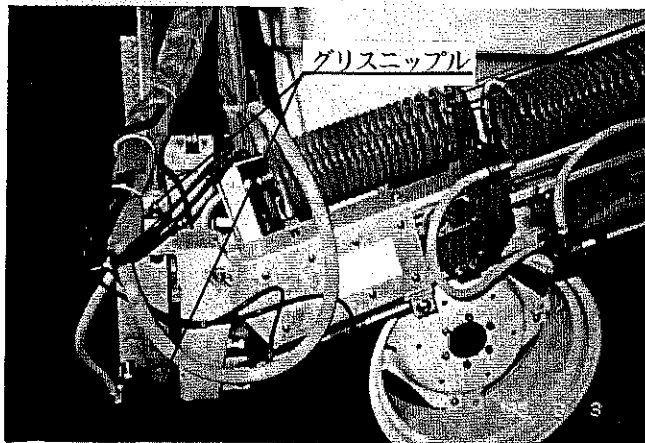
2回目以降...100時間毎

(ロ) クランクケースのシリンダ取付け部にある3個の注油口に油差しでモビール油（始業時毎）を数滴注油します。

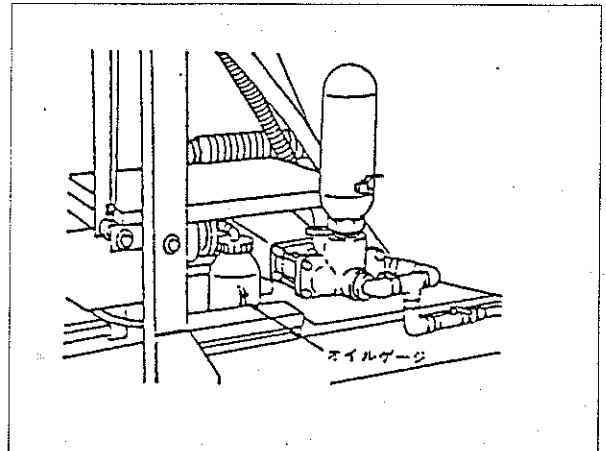


重要 ●運転前には毎回必ず行ってください。

② グリスニップル個所のユニバーサルジョイント（両側2ヶ所）、ブーム各リンク部（右、左ブーム4ヶ所）、開閉、上下シリンダ（4ヶ所）その他トラニオン軸、けん引かん支持軸、けん引ヒッチ軸へグリスアップします。
グリス 20時間毎 適量



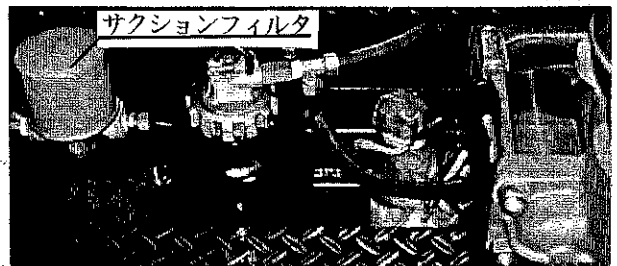
③ 油圧用オイルの油量を点検し、不足している時は補充します。



使用オイル タービン油 #90 (ISO. VG32) 容量4ℓ
標準オイル交換時間：初 回…… 50時間
2回目以降……… 2年毎

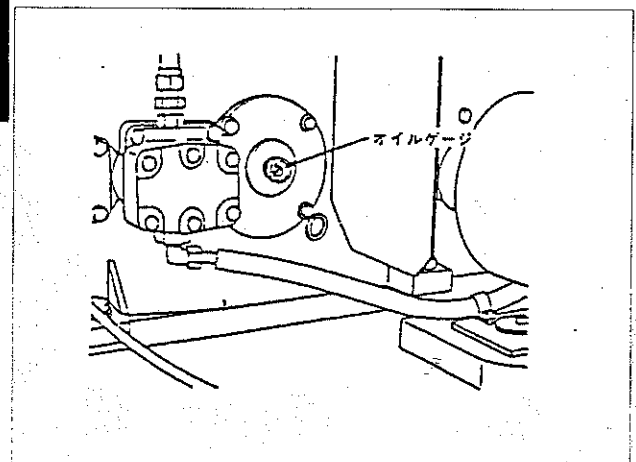
④ 油圧用オイルフィルタの交換は、定期的に行うようにしてください。

カートリッジフィルタ HCI-G (150W) · P/N0. 172845
カートリッジ交換時期……… 200時間



⑤ ギヤケース外部へ油がモレていないか確認します。

オイル交換は初回50時間目、2回目以降は600時間毎に行ってください。



使用オイル ギヤオイル SAE90 容量2.0ℓ